

4/30 受験.

ホリゾンも割きすぎでいい。

このように具体的事例は技術的問題点に取り上げる内容でいい。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設	部門
問題番号	I-2-8(B)	選択科目	河川、砂防及び海岸・海洋	
答案使用枚数	1枚目 3枚中	専門とする事項		

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1. はじめに

土砂災害を伴う大規模地震では、平成7年に発生した阪神淡路大震災や平成16年に発生した新潟県中越地震が記憶に新しい。

このような大規模地震が発生した際に生じる土砂災害と周辺に及ぼす影響には以下のようなものがある。

① 天然ダムの形成に伴う上流域の浸水および決壊に伴う土石流等による土砂の氾濫や浸水

② 同時多発する崩壊に伴う土石流の流下による直接的な土砂災害

③ 大規模地すべりの発生に伴う直接的な土砂災害

また、大規模な地震に伴う土砂災害は、ひとたび発生すると人名に直結する可能性が高いため、これに対する危機管理は重要である。

しかし、現状においてこのような大規模地震に伴う土砂災害が発生した際の危機管理体制は、十分とはいえない。

体现止表現の場合(箇条書きに用いる「最後の名詞を終句で平法」)の句点は不要です。

①「音読みと訓読み」
 ↓
 ○音読み: 徐々: ~OK
 ○訓読み: 我々は ~NG
 ↓
 我々は ~OK

2. 技術的問題点

大規模地震時の土砂災害に対する危機管理体制の課題は様々なものがある。ここでは、以下に示す3点の技術的問題点に対して絞り込み、これらに対応する際の留意点について私見を述べる。

- ① 事前対策の整備
- ② 緊急事態への対応
- ③ 復旧・復興に関する整備

問題点にあてません。あくまでもネガティブに表現して下さい。

↓

よほどこの記述をそのまま解決策のKHUに用いるのは苦がありません。

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24字×25字

予防対策が採られずい。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設	部門
問題番号	1-2-8(B)	選択科目	河川、砂防及び海岸・海洋	
答案使用枚数	3枚目 3枚中	専門とする事項		

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

(2) 緊急事態への対応

緊急事態への対応では、以下のことが考えられる。

に留意が必要がある *4

① 災害状況把握及び災害の情報管理 : *3

→ 大規模地震発生に伴う土砂災害の発生時やそのおそ
→ れがある場合には、災害状況、被害の影響範囲等の情
→ 報を共有し、地域社会に対して広報することによってリスク
→ コミュニケーションを図ることが可能となると考えら
→ れる。 *4

② 災害発生時における二次災害の防止 : *3

→ 気象・水文観測装置や監視体制を整備することで応
→ 急工事や災害復旧作業時の二次災害を防止することが
→ 可能となると考えられる。 *4

(3) 災害復旧・復興

災害後の復旧・復興のために技術的指導、助言等
及び人的・物的支援を行うための連絡調整を実施する。
また、これらの復旧・復興の状況について関連機関や
地域社会との情報共有を図ることで、復旧・復興の事
業を円滑に進めることが可能となる。 *4

4. おわりに

これらのような大規模地震時の土砂災害に対して事
前対策、応急事態への対応、復旧・復興に関する整備
を図ることで十分な危機管理体制を整備することが可
能となり、災害に強い地域の社会づくりができる。 *4

ものとは考えらる *4
以上

1文字 See Back.

専門論文(土砂災害)講評

10点

このような論文を書いたのでは10年経ても合格しません。

↓
今まで毎年「技術士試験」を受けていたとすれば、ドブ銭だったと思います。

↓
厳しいことを言いましたが、松原さんくらいのベテラン社員のうちには確実に合格してほしいのです。
以下に、この論文の評価が低かった理由を列記しますので、今後の参考として下さい。

その1～終始「受身形」を用いており、これでは自信がないことをアピールしているのと同然です。

↓
技術論文では「1.はじめに」の部分に書く一般世論くらいにしか受身形を用いてはもら
ない!...とこのことを強く認識して下さい。

その2～専門論文であるにもかかわらず、図・表が1ヶ所も出てきません。

↓
解決策がソフト的なことが多いため、図にしたいという理由はわかりますが、その場合は、
手順等をフロー図として表現すると効果があります。

その3～2.のタイトルが「技術的問題点」となっているにもかかわらず、問題点を書いている
ため、論文の流れ(起・承・転・結)が生まれていないのです。

その4～「1.はじめの部分」に問題点のようなことがかかれているため、??です。

↓
ここは困った現実とどうやってきた歴史的経緯を書く部分です。

↓
はっきり言って、ここに書いてある①～③を技術的問題点として取り上げ、それを
予防する対策を「技術的解決策」として論文展開した方がよいと思います。

再提出

2008.4.30

山口工